

10月23日 ～ 25日 道内所管 事務調査 結果報告

財政再建団体の取り組み

(夕張市)

夕張市は炭鉱の町とし栄え最盛期の1960年には12万人近い人口となるが、本年10月1日現在では7,907人に減少している。1990年に炭鉱が全て無くなり観光振興を推進するも、借金を増加させた。

財政再建計画の重点事項では、人件費総額の大幅な削減(年収ベースで40%減)、事務事業の抜本的な見直し(生死に関わる事務事業以外は原則廃止)、病院事業の見直し(市立病院を有床診療所へ)などが盛り込まれた。

災害現場視察

(胆振東部地震)(厚真町)

胆振東部地震では、緩い傾斜のところでも崩れたこ

とが特徴的であった。厚真町の山間部では大きいところで40平方キロメートルほどが崩れ、面積としては観測史上最も広い範囲で土砂崩れが起きた地震であった。町全体で見ると徐々に日常生活を取り戻してきているが、山間部についてはまだまだ時間がかかるようだ。

災害における応援・受援について(北海道総務部危機対策局)

平成30年2月に策定された「北海道災害時応援・支援マニュアル」に基づく説明を受ける。

大規模災害発生時の北海道・東北8道県相互応援協定を結んでおり、被災道県に対し、支援する道県の順位を決めているので速やかな対応が可能となった。防災教育の取り組みとして、東日本大震災での「釜石の奇跡」を模範として自らの判断で的確な防災行動ができるように重きを置く。

民家再生プロジェクト

(小樽市)

民間団体の心がけていることとして、小樽をよくする運動の参加意識を重視、特に行政には手が回らないことを念頭に実施している、物件の所有者が取り組んできた歴史を文章化して思いを新たな所有者に伝えることによって円滑に譲渡が進む、物件探しには成年後見人に入ってもらうことにより物件の発掘が多くなったなどである。

大規模分譲地(余市町)

大型分譲地「余市まほろばの郷」は区画数675区画でほとんどが売却された。交通弱者に配慮した歩行者専用道路や大小複数の公園が整備されており、地区内には病院、老人ホームなどが配置されている。地域近郊には幼稚園やスーパーなど徒歩による生活が可能な地区となっている。



ことば

所管事務調査・・・

委員会で所管している事項について、議会の議決で必要な調査を閉会中に行うことができます。

閉会中の委員会では、先進地の状況を調査するための行政視察などを行っています。



1
2
3
4

1. 厚真町観光協会事務局長からの現場状況説明
2. 土砂崩れによって落ちたダムへの連絡橋
3. 道庁地下危機管理センターでの説明
4. 民家再生プロジェクトによって保存・譲渡された住宅